私の忘れられない思い出の一曲

いつか風になる日

奄美市立朝日小学校

「いつもずっとずっとそばにいてあげる」

私の忘れられない思い出の曲は、元ちとせさんの「いつか風になる日」です。最後に担任をした子供たちの卒業式の入場曲でした。

風葬がテーマのこの曲は、子供たちの門出にはふさわしくないのではと考えましたが、三線の音色で始まり、聴いているうちに奄美の風景が浮かんできて、「雄大な自然も家族も友達もみんな君のそばにいるよ」と語りかけてくるようで、選曲しました。

あれから9年、曲を口ずさみながら入場してきた笑顔の少女は、遠い地で不慮の事故にあい、風になって奄美に帰ってきました。彼女の顔はとてもきれいで寝ているようでした。私は手を合わせながらこの曲を思い出していました。本当は自分がこれからの人生を見守り、励ますつもりだったのに、「先生、泣かないで」と声が聞こえたような気がしました。

今日も私は風を感じながら、これまで出会った子供たちや、これから出会う誰かの風になれたらと思っています。

教頭　出口　勲

大浜海岸から眺める奄美の夕日